

富山県鑿井協会第20回定期総会開催

富山県鑿井協会第二十回定期総会が平成二十七年五月十四日(木)午後三時より富山第一ホテル桂の間にて開催された。

当日は八件の議案について審議が行われ、原案通り議決承認された。今年度は任期満了に伴う役員改選があり、新会長に土合拓也氏(株式会社日東 代表取締役)が選任され、専務理事に土肥勝則氏(株式会社土肥鉄工 代表取締役)、理事に内山祐治氏(内山鑿井工業株式会社 代表取締役)、丸田勝文氏(丸田勝文氏(有限)代表取締役)が就任した。

また今年度は協会設立二十周年の節目の年となるため、記念パンフレットを制作する提案があり、議決承認された。その他の事業計画案として安全衛生講習会の実施、技術講習会の実施、新エネルギー(地中熱研修会の開催等)が承認された。



平成 27 年度役員	
正会員	
会長	土合 拓也 (株)日東 代表取締役
専務理事	土肥 勝則 (株)土肥鉄工 代表取締役
理事	内山 祐治 内山鑿井工業(株)代表取締役
理事	丸田 勝文 (有)丸さく 代表取締役
監事	土合 一弘 一真工業(株)
賛助会員	
会長	前田 清隆 (株)安全性研究センター
副会長	水野 泰 (株)辻さく 富山営業所

講演会
定期総会終了後、午後四時より株式会社ビーイング金沢営業所 所長 柴田邦男氏による講演会『施工パッケージ型積算方式について』が開催され、会員・賛助会員二十九名の参加があった。富山県積算の注意点、施工個所が点在する工事の経費計算、総価契約単価合意方式の注意点についての説明があり、法律の改正による注意点、よくある質問の具体例について紹介があった。

参加者の多くは日頃の業務に深く関わる内容であったため、熱心にメモをとりながら話を聞いておられる姿もみられ、大変有意義な会となりました。



柴田氏ご講演の様子

平成 27 年度賛助会新規入会

株式会社 オキタ 高岡市向野町 3 丁目 58 番地

小矢部浄化株式会社 小矢部市八和町 10 番 32 号

株式会社北日本新聞開発センター 富山市安住町 2 番 14 号

菅井ボーリングサービス 新潟県阿賀野市嘉瀬島 14

株式会社富山アメニティシステム 富山市桜木町 10 番 10 号

一般財団法人富山 水 文化の財団 富山市新根塚町 1 丁目 8 番 14 号

株式会社ミヤシゲテクノ 高岡市野村 420

Eco ア リ ド

Vol. 3 2

〒930-0955 富山県富山市天正寺 1085
富山県鑿井協会
FAX (076) 421-5225
(076) 421-5226
http://www.iido.jp
E-mail: tomisaku@iido.jp

【発行】平成27年 8月

懇親会
講演会終了後、富山第一ホテルミエールにて懇親会が開催された。

まず、役員改選報告があり、八期十五年会長を務めた内山氏に花束の贈呈があり、新会長 土合拓也氏のあいさつがあった。また、今年四月の県議会議員選挙で四期目の当選を果たされた、富山県議会議員 宮本光明顧問へ花束の贈呈があり、乾杯の音頭をいただいた。新規賛助会七社の紹介や、顧問のアレマ一玉井氏によるマジック披露もあり、業種を超えた大変有意義な交流の場となりました。



懇親会で挨拶する土合会長

危険予知訓練レポートの作成

状況：油の残量を調べるため、ドラム缶を1人で台秤に載せようとしている

1. 潜在危険を発見・予知し、それによって引き起こされる現象を想定する。
2. 発見した危険のうち、重要危険を絞り込む。
3. 危険ポイントを解決するため、具体的で実行可能な対策を考える。
4. 重点実施項目を絞り込み、それを実践するための行動目標を設定する。

上記の危険予知訓練レポートを2チームに分かれ作成し、指差し呼称の重要性を再確認した。



富山県鑿井協会 平成27年度安全大会開催

富山県鑿井協会 平成27年度安全大会を7月17日(金)富山県民共生センター サンフォルテにて開催した。

労働安全コンサルタント 川辺 一正氏を招き「ヒューマンエラーを防ごう」と題し安全講習会を行なった。同日、講習会と合わせ新近代美術館(仮称)さく井設備工事現場の視察を行なった。終了後、とやま自遊館にて昼食会を開催し、会員・賛助会企業 20 名にて意見交換を行なった。

講習会

講師 労働安全コンサルタント 川辺 一正氏
演題 『ヒューマンエラーを防ごう！』

1. 労働災害の現状
数値で見る労働災害の発生数や発生状況について。
平成 25 年度の死亡者数 1,030 人(うち建設業 342 人)。年々減少してはいるが、毎年多くの労働災害が起こっている。墜落・転落の事故が大半を占める。
2. 災害事例
労働災害の原因と対策についての事例紹介
3. ヒヤリハット事例
人間と機械の動く空間が重なり合った部分が危険領域となる。
4. 災害防止対策
①日頃からの運動で体力をつける。 ②前日の多量の飲酒は禁物。
③睡眠・朝食をしっかりとる。 ④体調不良時は作業を控える。



新近代美術館(仮称)建設現場視察

富山市富岩運河環水講演西地区(富山市木場町)に建設中の新近代美術館(仮称)さく井設備工事現場を訪問し、安全管理状況等の視察を行った。



コミュニティ(地域)に根ざし、県内一番のアメニティ(おもてなし)を目指して

株式会社富山アメニティシステム
富山第一ホテル
営業部長 横川 宏一

富山第一ホテルが開業して34年を迎えます。当ホテルをほんの少しご紹介させていただきます。1982年10月「富山に迎賓館を」と県内外各界のご協力とご支援のもと開業致しました。当時としては、県内はもとより日本海側最大規模を誇る「都市型ホテル」の誕生でした。ホテル披露パーティは、三笠宮殿下をはじめ1,600名様のご招待客を招いての華やかさでした。翌1983年富山県は置県100年を迎えました。4月には1,000名様規模の記念式典が盛大に行われました。

また、富山空港ジェット化に対応し完成したターミナルビルの竣工式典や富山市制100周年記念式典もお手伝いさせていただきました。最近では北陸新幹線開業レセプションが盛大に執り行われました。

このように県内の行政や法人企業、各種団体の節目等には数多く当ホテルをご利用頂いております。

レストランでは和食、中国料理、フランス料理、バイキング料理、鉄板焼き、お寿司の店舗を兼ね揃え、そのバラエティの豊かさは市内随一であり、非日常的な空間を気軽にお楽しみ頂けます。

近年、市内では大型ホテルやブライダルゲストハウス等が多数進出し大変厳しい状況が続いております。当ホテルをご利用頂くお客様からも叱咤激励をたくさん頂戴しております。



お客様の声を真摯に受け止め改善し、基本理念である「コミュニティ(地域)に根ざし、県内一番のアメニティ(おもてなし)を目指して」を日々追求し、これからも県民の皆様へ愛されるホテルづくりに努めてまいります。是非、当ホテルをお気軽にご利用下さい。



水に生きる 水から育む 水を守る



この度、富山県鑿井協会に賛助会員として参加させて頂くこととなりました「株式会社ミヤシゲテクノ」です。

当社は、平成5年に設立し、平成7年に南砺市野尻にメンテナンスセンターを開設しました。設立以来22年、消雪・上水道・下水道を主な事業として「水」を通して地域に貢献してまいりました。

当社の事業の中で、鑿井協会と関連のあるものといえば、消雪部門となります。北陸地区開催のゆきみらい博のうち、富山・石川開催の時には当社取り扱い機器を出展いたしました。その中から2点、ご紹介したいと思います。商品名は「降雪検知器・スノーアンテナ」と「多目的監視装置・やくも水神」です。

降雪検知器・スノーアンテナ

耐腐食性に優れたチタンを使用した湿潤・温度検知部と、最適なプログラムによる降雪検知回路によって動作するシンプルな作りの降雪検知器です。

- 特長：
1. ゴミによる誤動作を防ぐ形状です。
 2. 万全な停電対策を施しています。
 3. 吹雪でも安定した動作をします。
 4. チタン電極により腐食がありません。
 5. 霧・露・霜などでの誤動作はしません。
 6. 光学検知ではないので外来光や浮遊物で誤動作することがありません。
 7. アンテナを交換しても調整不要です。
 8. 少量の雪で雪温を検知します。



多目的監視装置・やくも水神

広域化する水関連施設の適切な管理をやくも水神ネットワークで実現します。使用用途は多岐にわたり、消雪・上水道・下水道等各方面での利用が可能です。

- 特長：
1. クラウド環境利用で専用ソフトが不要です。
 2. webサーバーと接続し、監視装置1台からの設置可能です。
 3. パソコン・スマートフォン・タブレットから利用できます。
 4. 設置したその日から閲覧可能です。
 5. サーバーを東京・島根の2箇所に設け、データ管理は万全です。
 6. NTT docomoのネットワークで設置場所を選びません。
 7. 状態監視、異常警報だけではなく遠隔制御も可能です。



事務局を移転しました

所在地 〒930-0955 富山市天正寺1085 フィオレ201号
電話 (076) 421-5225
FAX (076) 421-5226
メールアドレス tomisaku@iiido.jp
ホームページ www.iiido.jp

※住所、電話、FAX、メールアドレス、ホームページ全て変更致しました。



富山市中心部より県道6号線を立山方面へ。天正寺交差点を左折し150m先。

逸品 アーロンチェアの購入 // 仕事の鬼となるため

有限会社丸さく 丸田 勝文

20年近く使い、クッションがへたって尻が痛くなる安物のオフィスチェア。1000円の低反発座ぶとんを敷いたりして、だましまし今に至る…。しかし最近、低反発座ぶとんまでもがへたったのか、やはり尻が痛くて、長時間の作業が苦痛だった。

これを買って替えるべきかと悩みつつも、妻から「イス変えれば」と背中を押され楽天市場で検索いつの間にか、ディープな「イスの世界」へとめり込む。

リサーチによれば、どのレビューを見ても「買って間違いねえ」というムードで溢れている品物が「アーロンチェア」というイス。しかし、価格が…ポロい中古車に乗った庶民が、いきなり最高級車に乗るような恐れ多さを感じ、気が引ける…。しかしながら、「えいやっ」と気合を入れて 購入ボタンをぼちっと押してしまった。

商品到着、やはりこれはすごい椅子だわ、と実感。最近多いリラックス系のオフィスチェアとは違い、シャキッと仕事に向かわせ、しかし辛くはないという、絶妙なバランスなのではないかと思います。「ウーハ〜儲けてんなー」と思われるのが世の常ですが、寝てる時間より椅子に座っている時間の方が長いわけで、しかもこの椅子は12年保証だから、けして高い買い物ではないのではないかと思います。むしろ、アーロンによって心身の疲労が軽減し、集中力の持続する時間が少しでも伸びれば、生産性上昇。

そんなわけで、元がとれるようにアーロンチェアにはビシバシ働いていただきたいと思います。

